



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 株式会社京三製作所

コード番号 6742

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 宮崎 和明

上場取引所

URL

東証一部・大証一部

<http://www.kyosan.co.jp>

TEL (045) 450-1034

(百万円未満切捨て)

### 1.平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1)連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	34,774	( 1.5 )	711	( )	725	( )	578	( )
19 年 3 月期第 3 四半期	35,309	( 8.8 )	1,133	( )	1,070	( )	527	( )
19 年 3 月期	65,093		2,947		3,090		1,746	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	9 23	
19 年 3 月期第 3 四半期	8 41	
19 年 3 月期	27 84	27 84

#### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	78,347	31,195	39.8	497 50
19 年 3 月期第 3 四半期	79,788	31,504	39.4	501 01
19 年 3 月期	80,860	33,921	41.8	539 39

#### (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	1,390	421	2,123	4,516
19 年 3 月期第 3 四半期	72	218	1,564	6,861
19 年 3 月期	296	496	600	4,203

### 2.平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	65,600 (0.8)	2,900 ( 1.6 )	2,750 ( 11.0 )	1,200 ( 31.3 )	19 14

3.その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

- 1.通期の業績予想につきましては、第3四半期の実績および今後の見通しを勘案し、平成19年11月14日公表の予想数値を本資料において修正いたしました。当該予想数値の修正に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 2.業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期は、信号システム事業においては、今期売上予定のJRおよび民鉄向けATS・ATC設備、公民鉄向け各種信号設備の売上が前年同期と同様に第4四半期に集中することから、売上高は25,716百万円（前年同期比0.2%減）に止まっております。

また、電気機器事業においては、通信設備用電源装置の売上は堅調に推移しましたが、液晶パネル製造装置、半導体製造装置などの市況回復のずれ込みを受け、産業機器用電源装置の売上が減少したため売上高9,057百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

この結果、事業全体での当第3四半期までの売上高は34,774百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

損益面につきましては、信号システム事業においては売上原価率の改善や販売費の削減に努めましたが、電気機器事業の売上減少により当第3四半期までの損益は経常損失725百万円（前年同期は1,070百万円の損失）、四半期純損失578百万円（前年同期は527百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の総資産は前連結会計年度末に比べ2,512百万円減少し、78,347百万円となりました。主な増減としましては、流動資産では現金及び預金が346百万円、たな卸資産が9,036百万円増加し、受取手形及び売掛金が10,634百万円減少しました。固定資産では有形固定資産が土地の売却により786百万円減少し、投資その他の資産が投資有価証券の時価評価などにより1,238百万円減少しました。流動負債では支払手形及び買掛金が271百万円増加し、短期借入金が3,365百万円増加しました。固定負債では退職給付引当金が578百万円減少しました。

また、当第3四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加により1,390百万円のマイナス、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産および関係会社株式の取得による支出などにより421百万円のマイナスとなり、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入などにより2,123百万円のプラスとなりました。この結果、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ312百万円増加し、4,516百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、信号システム事業の鉄道信号システムにおいて鉄道事業者の列車保安度向上に向けた設備投資やホーム安全装置などの需要に支えられ、前期同様、堅調に推移しております。

一方、電気機器事業においては、液晶パネルメーカーの生産設備投資の抑制に加え、半導体デバイスの価格下落などの市況の悪化があり、主力製品である産業機器用電源装置の売上が減少しました。市況は、第3四半期以降に回復傾向がみられるものの電気機器事業の業績回復に至らず、売上高、利益とも当初予想を下回る見込みであります。

この様な状況をふまえて、連結・個別業績予想について以下のとおり修正いたします。

(1) 平成20年3月期連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	66,000	3,200	3,200	1,600
今回修正予想(B)	65,600	2,900	2,750	1,200
増減額(B-A)	400	300	450	400
増減率(%)	0.6	9.4	14.1	25.0
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	65,093	2,947	3,090	1,746

(2) 平成20年3月期個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	60,000	2,900	2,900	1,400
今回修正予想(B)	59,300	2,300	2,400	1,100
増減額(B-A)	700	600	500	300
増減率(%)	1.2	20.7	17.2	21.4
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	59,323	2,615	2,876	1,828

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準・・・法定実効税率をベースとした年間予想税額により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)および(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日 政令第83号))に伴い、平成19年4月1日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得したのものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

これにより営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失がそれぞれ46百万円増加しております。

**(要約) 四半期連結貸借対照表**

(単位 百万円 %)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流 動 資 産	52,361	52,317	44	0.1	52,969
現金及び預金	7,703	5,397	2,306		5,050
受取手形及び売掛金	16,239	17,629	1,389		28,264
たな卸資産	26,578	27,536	958		18,499
繰延税金資産	1,272	1,269	3		967
その他	576	496	80		213
貸倒引当金	9	11	2		26
固 定 資 産	27,426	26,030	1,396	5.1	27,890
有形固定資産	8,302	7,602	699	8.4	8,389
建物及び構築物	2,417	2,524	107		2,459
土地	3,920	2,980	940		3,840
その他	1,963	2,096	133		2,088
無形固定資産	587	812	225	38.4	647
投資その他の資産	18,537	17,615	921	5.0	18,854
投資有価証券	12,765	11,285	1,480		13,459
関係会社株式	2,533	2,505	28		2,552
繰延税金資産	2,001	2,523	521		1,613
その他	1,337	1,385	47		1,297
貸倒引当金	101	84	16		69
資 産 合 計	79,788	78,347	1,440	1.8	80,860

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円 %)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流 動 負 債	32,492	32,670	177	0.6	31,433
支払手形及び買掛金	15,397	15,456	58		15,185
短期借入金	10,901	12,109	1,207		8,900
そ の 他	6,193	5,104	1,088		7,347
固 定 負 債	15,791	14,481	1,309	8.3	15,504
長期借入金	7,546	7,022	524		7,383
退職給付引当金	7,744	7,040	703		7,619
役員退職慰労引当金	186	75	110		201
そ の 他	314	343	29		300
負 債 合 計	48,283	47,151	1,131	2.3	46,938
(純資産の部)					
株 主 資 本	27,445	28,412	967	3.5	29,715
資 本 金	6,270	6,270			6,270
資 本 剰 余 金	4,625	4,625			4,625
利 益 剰 余 金	16,597	17,569	972		18,870
自 己 株 式	47	52	5		50
評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,973	2,783	1,190	30.0	4,109
その他有価証券評価差額金	4,036	2,856	1,180		4,179
為替換算調整勘定	62	73	10		69
少 数 株 主 持 分	85		85		96
純 資 産 合 計	31,504	31,195	308	1.0	33,921
負 債 及 び 純 資 産 合 計	79,788	78,347	1,440	1.8	80,860

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**(要約) 四半期連結損益計算書**

(単位 百万円 %)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	35,309	100	34,774	100	534	1.5	65,093	100
売 上 原 価	30,149	85.4	29,259	84.1	889	3.0	53,351	82.0
売 上 総 利 益	5,160	14.6	5,514	15.9	354	6.9	11,742	18.0
販売費及び一般管理費	6,294	17.8	6,226	17.9	67	1.1	8,794	13.5
営業利益又は 営業損失( )	1,133	3.2	711	2.0	422		2,947	4.5
営業外収益	307	0.9	243	0.7	63	20.8	485	0.7
営業外費用	244	0.7	257	0.7	12	5.3	342	0.5
経常利益又は 経常損失( )	1,070	3.0	725	2.0	345		3,090	4.7
特別利益	77	0.2	15	0.0	62		76	0.1
特別損失	19	0.1	113	0.3	93		112	0.1
税金等調整前四半期純損失( ) 又は税金等調整前当期純利益	1,012	2.9	823	2.3	188		3,054	4.7
税金費用	335		246		89		1,447	
少数株主損失( )又は 少数株主利益	149		2		151		138	
四半期純損失( ) 又は当期純利益	527	1.5	578	1.7	51		1,746	2.7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**(要約) 四半期連結株主資本等変動計算書**

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自 己 株 式	株 主 資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	6,270	4,667	17,598	45	28,490	5,327	66	5,261	235	33,987
当四半期変動額										
剰余金の配当(注)			439		439					439
役員賞与(注)			34		34					34
四半期純損失			527		527					527
自己株式の取得				1	1					1
資本剰余金の取崩し		41			41					41
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						1,290	3	1,287	150	1,437
当四半期変動額合計		41	1,001	1	1,045	1,290	3	1,287	150	2,482
平成18年12月31日残高	6,270	4,625	16,597	47	27,445	4,036	62	3,973	85	31,504

(注) 定時株主総会における利益処分項目であります。

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自 己 株 式	株 主 資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成19年3月31日残高	6,270	4,625	18,870	50	29,715	4,179	69	4,109	96	33,921
当四半期変動額										
剰余金の配当			721		721					721
四半期純損失			578		578					578
自己株式の取得				1	1					1
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						1,322	3	1,326	96	1,423
当四半期変動額合計			1,300	1	1,302	1,322	3	1,326	96	2,726
平成19年12月31日残高	6,270	4,625	17,569	52	28,412	2,856	73	2,783		31,195

(参考)前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自 己 株 式	株 主 資本合計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	6,270	4,667	17,598	45	28,490	5,327	66	5,261	235	33,987
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当(注)			439		439					439
役員賞与(注)			34		34					34
当期純利益			1,746		1,746					1,746
自己株式の取得				5	5					5
資本剰余金の取崩し		41			41					41
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						1,148	3	1,151	138	1,290
連結会計年度中の変動額合計		41	1,271	5	1,224	1,148	3	1,151	138	65
平成19年3月31日残高	6,270	4,625	18,870	50	29,715	4,179	69	4,109	96	33,921

(注) 定時株主総会における利益処分項目であります。

## (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純損失( ) 又は税金等調整前当期純利益	1,012	823	3,054
減価償却費	664	714	860
売上債権の増減額(増加: )	8,570	10,631	3,456
たな卸資産の増減額(増加: )	7,292	9,039	781
仕入債務の増減額(減少: )	352	132	537
法人税等の支払額	599	1,288	645
その他	94	1,718	239
営業活動によるキャッシュ・フロー	72	1,390	296
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	167	1,003	219
定期預金の払戻による収入	1,582	967	1,626
投資有価証券の取得による支出	677	54	1,131
関係会社株式の取得による支出		180	
有形固定資産の取得による支出	461	718	712
有形固定資産の売却による収入	64	861	64
無形固定資産の取得による支出	114	157	201
その他	7	134	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	218	421	496
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少: )	2,414	3,365	492
長期借入による収入	5,000		5,000
長期借入金の返済による支出	5,407	517	5,650
配当金の支払額	439	721	439
その他	3	2	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,564	2,123	600
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1	0
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	1,856	312	801
現金及び現金同等物期首残高	5,004	4,203	5,004
現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	6,861	4,516	4,203

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

（単位 百万円）

	前四半期（平成 19 年 3 月期第 3 四半期）				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	25,771	9,537	35,309		35,309
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	60	1,258	1,318	(1,318)	
計	25,832	10,795	36,627	(1,318)	35,309
営業費用	26,278	9,772	36,050	392	36,443
営業利益又は損失（ ）	446	1,023	577	(1,711)	1,133

（単位 百万円）

科 目	当四半期（平成 20 年 3 月期第 3 四半期）				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	25,716	9,057	34,774		34,774
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	13	837	850	(850)	
計	25,730	9,895	35,625	(850)	34,774
営業費用	24,822	9,657	34,479	1,006	35,486
営業利益又は損失（ ）	907	237	1,145	(1,857)	711

（単位 百万円）

科 目	（参考）平成 19 年 3 月期				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	50,980	14,113	65,093	-	65,093
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	64	2,215	2,279	(2,279)	-
計	51,044	16,329	67,373	(2,279)	65,093
営業費用	47,319	14,720	62,039	106	62,146
営業利益	3,724	1,608	5,333	(2,385)	2,947

- （注）1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
 3. 各事業の主な製品  
 （1）信号システム事業.....列車運行管理システム、列車保安制御システム、交通管制システム  
 （2）電気機器事業.....半導体応用機器  
 4. 営業費用のうち消去または全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門等に係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

(単位 百万円)

	アジア	その他	計
海外売上高	4,849	279	5,129
連結売上高			35,309
連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.7%	0.8%	14.5%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・台湾、中国、韓国等

(2) その他・・・ベネズエラ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

(単位 百万円)

	アジア	その他	計
海外売上高	2,507	498	3,005
連結売上高			34,774
連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.2%	1.4%	8.6%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他・・・ベネズエラ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(参考) 平成19年3月期

(単位 百万円)

	アジア	その他	計
海外売上高	6,969	1,302	8,271
連結売上高			65,093
連結売上高に占める 海外売上高の割合	10.7%	2.0%	12.7%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・台湾、中国、韓国等

(2) その他・・・中近東等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。